

MDJ プレスリリース

**MEDICAL FAIR ASIA / MEDICAL MANUFACTURING
ASIA 2018**

ファイナルレポート



**高いテクノロジーとイノベーションが MEDICAL FAIR ASIA と MEDICAL
MANUFACTURING ASIA 2018 の成功ファクター**

**2つの展示会は世界中から 20,000 を超える来場者を集客
コミュニティ・ケアやデジタル・ヘルス、スタートアップ企業へのフォーカスは業界関係者
から好評を得た**

メディカルと MedTech の 2 つのセクターが相乗効果を生む商談展示会であり、東南アジアにおける最大の医療機器、医療製品展示会である MEDICAL FAIR ASIA 2018（同時開催は医療機器技術・部品展の MEDICAL MANUFACTURING ASIA 2018）は、8月31日に3日間の会期を成功裏に終了した。会場は、シンガポールのマリナ・ベイ・サンズに隣接する the Sands Expo and Convention Centre。主催は Messe Düsseldorf Asia。

過去最大規模となる今回の 2 展は、72 の国から、14,000 人を超える業界ビジターが、医療機器などの販売に関する商談会の MEDICAL FAIR ASIA を訪問した。これは前回比（2016 年）16% の増加であった。エンジニアとの技術商談会となる MEDICAL MANUFACTURING ASIA 2018 には、56 の国から、約 6,000 人の業界ビジターが来場したが、同じくこちらは 12% の増加であった。

12 回目の開催となる MEDICAL FAIR ASIA と、4 回目の開催となる MEDICAL MANUFACTURING ASIA の両展には、1,220 を超える出展者が 62 か国から参加した。ビジターも国際的で多様性に富み、40% がシンガポール以外からの来場であり、その大多数は、近隣の ASEAN 諸国やアジアからであった。B to B の商談展示会である同展のビジターは世界の多種多様な医療機器を一堂に目にすることができ、医師などの医療従事者も自分たちの医療現場に必要とされる製品の確認に余念がなかった。特に 9 つの初参加を含む、23 の国や地域からパビリオン出展があった MEDICAL FAIR ASIA 2018 は、こういったビジターの要求を満足させるものとなった。出展者から見ても、多数のポテンシャルな顧客や取引先とのコンタクトはビジネス発展への期待につながり、向こう 10 年は成長が続くとされているアジアのマーケットへの期待と同様であった。

アジアのゲートウェイであるシンガポールは、ヘルスケア産業の戦略的な場所として位置付けられ、今回の 10,000 を超える出展製品も、医療機器製造の川上である部材から、川下である最終製品まで網羅され、展示会としての利用価値を更に高めた。

今回、MEDICAL FAIR ASIA で特に注目を集めたのはコミュニティ・ケアやデジタル・ヘルス、スタートアップ企業などである。

東南アジアでも少子高齢化が進む国もあり、介護機器などへの需要は急速に高まっており、MEDICAL FAIR ASIA で設置された Community Care の展示ゾーンは活況であった。

デジタル・ヘルスへの関心も、利便性やコスト抑制のために引き続き高く、会場に設置された Start-Up Park と Future for Health (FTR4H) digital health lounge では、様々なプレゼンテーションも実施された。特にベンチャー企業が集まる Start-Up Park では、投資家が興味を引くような、斬新なアイデアやテクノロジーに高い注目が集まり、大学や研究開発拠点が集積するシンガポールの地の利を活かしていた。

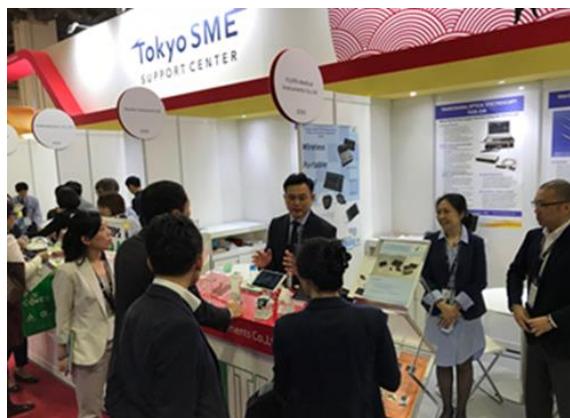
4 回目の開催となった同時開催 MEDICAL MANUFACTURING ASIA も、回を重ねるごとに質と量が高まり、技術系の商談プラットフォームとしての評価が高まっている。両展の開幕式に来賓として参列したシンガポールの通産省、Dr Koh Poh Koon 上級相は、新たなアプローチや、よりディープなコラボレーションによるバリューチェーンの動きが、医療機器製造に関わる加工、部材メーカーの成長を後押ししている傾向にあると強調した。

会期中にはビジターとして参加したエンジニアやメーカーの開発担当者などが、出展者のブースを訪問し、新製品に必要な加工技術や部材の開拓に余念がなかった。R&D や開発の拠点とも言えるシンガポールでの同展開催は、今後も発展が見込まれている。

今回、日本から過去最高となる 5 つのパビリオン（東京、神戸、大阪、さいたま、福島）を含む両展合計 67 社が出展した（MEDICAL FAIR ASIA は 52 社／MEDICAL MANUFACTURING ASIA は 15 社）。商談展示会である同展に出展参加の日本企業は、ジャパン・ブランドの強みを活かし、東南アジアを中心としたディストリビューターやメーカーとの商談を行った。引き合いや受注につながる商談もあり、出展者からの満足度は概ね高く、意思決定権を持った来場者の多数の参加を裏付けた。以下、パビリオンの主催者、及び出展企業のコメントを紹介する。

5 年連続でシンガポールとバンコクの MEDICAL FAIR に継続グループ出展の[東京都中小企業振興公社](#)

「東京 SME パビリオンへの出展企業数は年々増えており、今回は 12 企業と共に出展しました。来場者は開催国のシンガポールのみならず周辺国からのディストリビューター、医療関係者も非常に多く、ASEAN 市場におけるヘルスケア産業への関心の高さがうかがえる 3 日間でした。前回同様、ブースは出入口付近の好立地に位置し、出展企業からは「来訪客の質が非常に高く、内容の濃い商談ができた」といった高い評価を得ています。知名度のある MEDICAL FAIR を通じて、今後の ASEAN 市場でのビジネス展開を期待しています」





同じく4年連続でグループ出展の[神戸医療産業都市推進機構](#)の出展者のコメント

「お客様が非常に熱心であったことから、商談・来場の量的なものより質的なものが非常に高かった」

「医療機器に新規性があり、集客率が高い」

「事前アポイントがうまく取れ、弊社としては効果的な展示会だった」

「ASEAN 諸国の前に進む力を再認識した。シン

ガポールはASEAN/インド/一部中東域までカバーできる重要なHUB国家である」

手術用照明灯を出展した[山田医療照明株式会社](#)

「今年は一昨年よりもシンガポールからの来場者数が多く、シンガポールでの展開を進めたい弊社としてはいい機会だったと思っております。弊社のように海外担当のみで海外営業を進めているような会社としては会場の広さ、来場者数はちょうどよい規模だったと今回思いました」

*同社製品は今回ご出展を通じて[現地メディア](#)でも取り上げられました。



遺伝子検査紙 PAS を出展した[株式会社 TBA](#)

「出展の目的は、弊社技術をもとに IVD キットを現地で開発製造してくれるパートナー探しでした。可能性ある数社と面談し、今後につながり、成果ありました。参加者の国・分野・職種が広く、弊社情報をうまく伝える事ができた為、と思っています」

姿勢評価システムを出展した[株式会社ジースポート](#)

「とても良い展示会で、特に問題もありませんでした。私たちが出展したブースにおいて、約100人の方々と情報交換することが出来ました。これは当社にとって大きな成果です。そして情報交換した顧客の一部とは今後のお取引の可能性に関して話を進めているところです」



MEDICAL FAIR ASIA と MEDICAL MANUFACTURING ASIA は、メッセ・デュッセルドルフで開催の MEDICA、REHACARE、および COMPAMED のグローバルな専門知識を共有する MEDICAlliance の商談展示会として、次回もシンガポールのマリナ・ベイ・サンズで2020年9月9日から11日の日程で開催される。

また、来年2019年には同じく Messe Düsseldorf Asia 主催によるタイ、バンコクでの第9回 MEDICAL FAIR THAILAND が9月11日~13日の日程で開催される。

MEDICAL FAIR ASIA 公式サイト：<http://www.medicalfair-asia.com>

MEDICAL MANUFACTURING ASIA 公式サイト：<http://www.medmanufacturing-asia.com>

MEDICAL FAIR THAILAND 公式サイト：<http://www.medicalfair-thailand.com>

その他、MEDICA 主催・共催の MEDICAlliance：<https://www.medicalliance.global/>

株メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部

〒104-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959 / mdj@messe-dus.co.jp www.messe-dus.co.jp